

教育における生成AI活用推進リーダープログラム

生成AI活用の推進

より良い研修の作り方



吉田 壘

東京大学 大学院工学系研究科 准教授
LLM 寄附講座 特任准教授

2026年4月

効果的な教員研修の要素 (Darling-Hammond et al. 2017)

- 教科・教材・学習内容に即していること
- 能動的に学べること
- 協働があること
- よい実践のモデルが見えること
- コーチや専門家の支援があること
- フィードバックと省察があること
- 十分な継続期間があること

効果的な教員研修の要素 (Sims et al. 2021)

- **IGTP**

- I: insight: なぜその実践が有効なのかの理解
- G: goal-directed behaviour: 目標志向の行動促進
- T: technique: 具体的な技能・手立ての習得
- P: practice: 実践への埋め込み

- **研修の形式よりも内容が重要**

- instructional coaching、lesson study、strong teacher learning communities の平均効果に明確な優劣は見られなかった
- 効果の違いを説明するのは「その形式に何の仕掛けが入っているか」
- IGTP をバランスよく押さえていると、そうでない設計より効果大の傾向

オンライン教員研修（OPD）の効果（Morina et al. 2025）

- **対象** 2005～2024年・ K-12 現職教員に対するオンラインPDの102研究
- **得られた知見**
 - 教員の知識・技能・態度・信念への効果中（ $g=0.705$ ）、授業実践への効果中（ $g=0.545$ ）、学習者の学力・成果への効果小（ $g=0.194$ ）
 - 授業実践への効果について、協働参加を含む OPD の方が効果が大きい（同僚やメンターとの共同参加・相互作用が肝要）
 - 学習者への効果について、同期型 OPD の方が非同期型より有意に大きい
- **実践への示唆**
 - 同期/非同期、協働参加、継続時間が重要
 - 教員の満足や知識向上だけでなく、実際に授業で使えるスキルや教材の獲得まで支援することが重要

より効果的な研修に向けて

- 単発ではなく中長期的な研修
- 能動的に学べること、協働があること
- 実践の提示、具体的なスキルの獲得、実践への埋め込みを含めること
- コーチや専門家の支援があること、フィードバックと省察があること

参考文献

- Darling-Hammond, L., Hyler, M. E., & Gardner, M. (2017). Effective teacher professional development. *Learning policy institute*.
- Morina, F., Fütterer, T., Hübner, N., Zitzmann, S., & Fischer, C. (2025). Effects of online teacher professional development on teacher-, classroom-, and student-level outcomes: A meta-analysis. *Computers & Education*, 228, 105247.
- Sims, S., Fletcher-Wood, H., O'Mara-Eves, A., Cottingham, S., Stansfield, C., Van Herwegen, J., & Anders, J. (2021). What Are the Characteristics of Effective Teacher Professional Development? A Systematic Review and Meta-Analysis. *Education Endowment Foundation*.